

R.5 REPORT

Oita Art and Culture
Support Center
for Disabilities

企画・発行

おおいた障がい者芸術文化支援センター
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団

令和
5年度

おおいた障がい者 芸術文化支援センター 事業報告書

R.5 REPORT

Oita Art and Culture
Support Center
for Disabilities



はじめに

おおいた障がい者芸術文化支援センターは、令和元年11月の開設から4年が経ちました。これまでの間、センターでは、障がいのある人による芸術文化活動の推進を図るため、発表の機会等の拡充を進めるとともに、活動を支援する仕組みの構築を目指して、様々な取り組みを進めてきました。

センターには、毎年、「創造」や「発表」の機会に関する多くの相談が寄せられています。「創造」の機会に関する対応として、「オープンアトリエ」を中心とした事業を展開しており、利用している施設で創作活動が体験できるよう「アウトリーチ」を実施するほか、身近な場所で創作活動に取り組めるよう「地域開催」を企画しています。令和5年度の「地域開催」は、由布市、杵築市、中津市の3市で、絵画制作や様々な素材を用いたアートワークショップを実施し、完成した作品は商業施設や公民館で展示を行いました。

また、「発表」の機会として、大分県立美術館（OPAM）で企画展を行いました。大分のアーティスト16名と1施設に加え、50年もの長きにわたり先進的に障がいがある人のアート活動に取り組んでこられた、奈良県にある「たんぼぼの家」の10名のアーティストの作品も合わせて展示を行い、約4,400点に及ぶ作品展示となりました。

この企画展のタイトル「扉をあける」は、今、自分がいる場所から次のフェーズへのアクション、行動することの意味を込めています。これまでアートを通じ、一人一人があけてきた「可能性の扉」、その過程や証について、展示を通して紹介しました。

このほか、県内の小学校に障がいのあるアーティストを派遣し、交流を図ることで、障がいへの理解を深めるワークショップや、障がいのある方の芸術文化活動をサポートする人材を育成するためのセミナーも企画し、障がいのある人が芸術文化活動に参加しやすい社会に向けた環境の整備にも努めています。

次年度からは、「大分県障がい者計画（第2期）」を踏まえ、事業内容の充実は勿論のこと、障がいのある方々にセンターの情報が適切に届くよう、アクセシビリティの向上にも努めていきたいと考えていますので、これまでと同様よろしくお願いいたします。

結びに、おおいた障がい者芸術文化支援センターの事業運営にあたり、格別のご支援とご協力を賜りました関係者各位に心から感謝を申し上げます。

おおいた障がい者芸術文化支援センター

R.5 REPORT

Oita Art and Culture
Support Center
for Disabilities

おおいた障がい者 芸術文化支援センター

（公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団）



県内に居住する障がいのある人の芸術文化活動を支援することを目的に、令和元年11月に大分県が「おおいた障がい者芸術文化支援センター」を設立しました。障がいのある人自身やそのご家族、支援者などの相談内容に応じて、障がいのある人が芸術文化活動を楽しむことができる環境や体制を整え、様々な機関や人をつなげてサポートします。大分県において、障がいのある人たちの芸術文化活動の輪が広がり、誰もが自由に表現を楽しみ、生き生きと自分らしく生活できることを目指します。

1

P 03-04

相談支援

個性や障がい特性に合わせた制作環境づくり、イベントの企画・運営についてなど、障がいのある人の表現活動に関する様々な相談を受け付けています。

2

P 05-10

創造機会の提供

障がいのある人が地域の人々と共に表現活動を楽しめる場を提供しています。

- オープンアトリエ in コトブキヤ駅南
- わたしのパレット展 ● アウトリーチ
- オープンアトリエ地域開催

3

P 11-15

発表機会の提供

展覧会や舞台公演など、障がいのある人の表現活動を発表する場を提供しています。

- 企画展 vol.5「扉をあける」
- gallery MAPO
- オリジナル影絵パフォーマンス「よるのとびらをあける」

4

P 16

鑑賞機会の提供

様々な団体と連携し、障がいのある人が美術館や劇場、ホールを気軽に訪れることができる場を提供しています。

- 彫刻をさわる時間

5

P 17-18

人材育成

障がいのある人の芸術表現を支援し、企画・運営する人材のスキルアップを図ることを目的に、芸術文化や福祉、教育等の分野に携わる人などを対象としたセミナーを開催しています。

- 冬の創作ワークショップ

6

P 19

交流事業

障がいのあるアーティストが講師となり、県内の学校などでワークショップを行っています。子ども達との交流を通じて、表現活動への関心を高めることを目的としています。

- アートを感じるワークショップ

7

P 20-21

情報収集・情報発信

障がいのある人の芸術文化活動に関する調査を行い、新たな人材や作品を発掘しています。ホームページやSNSを通じて、県内で活躍する障がいのある作家の紹介や、県内外のアートイベントの情報発信を行っています。

- 調査・発掘
- 情報発信

1 相談支援

主に障がいのある人ご自身やご家族、障がい福祉関係者より、創造機会や発表機会に関する相談がメインに寄せられました。また、文化団体や企業からの提案を受け、センターが繋ぎ役となることで、作品発表の機会をつくることも出来ました。県庁所在地である大分市内からの相談が最も多く、まだ相談を受け付けていない市町村もあります。今後もセンターが相談窓口であることの周知を図りたいと思います。

令和5年度相談実績

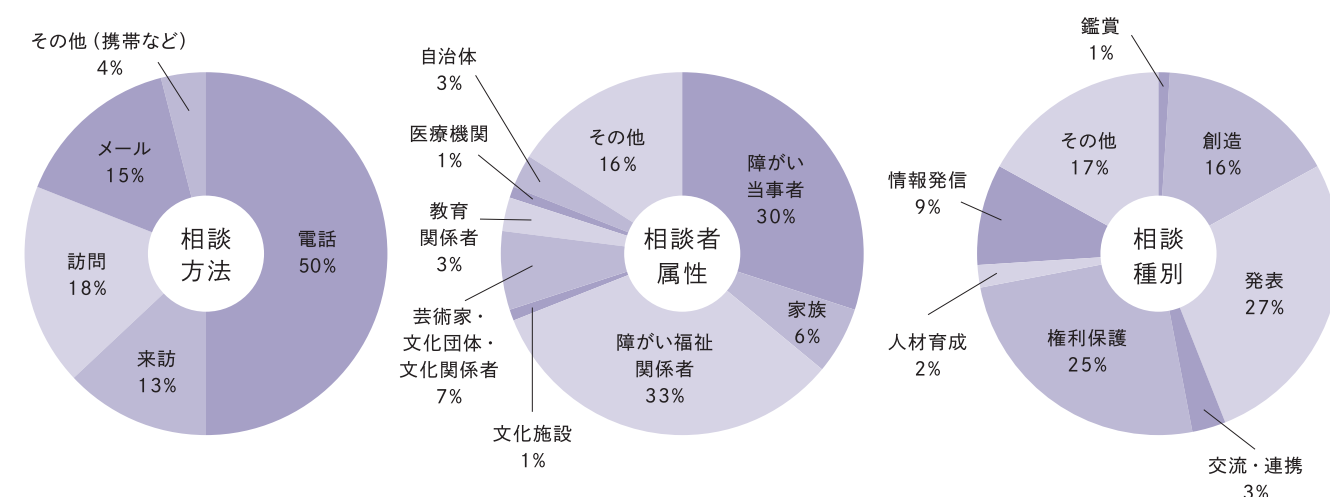
令和5年4月～令和6年2月

相談件数 209件 対応回数 374回

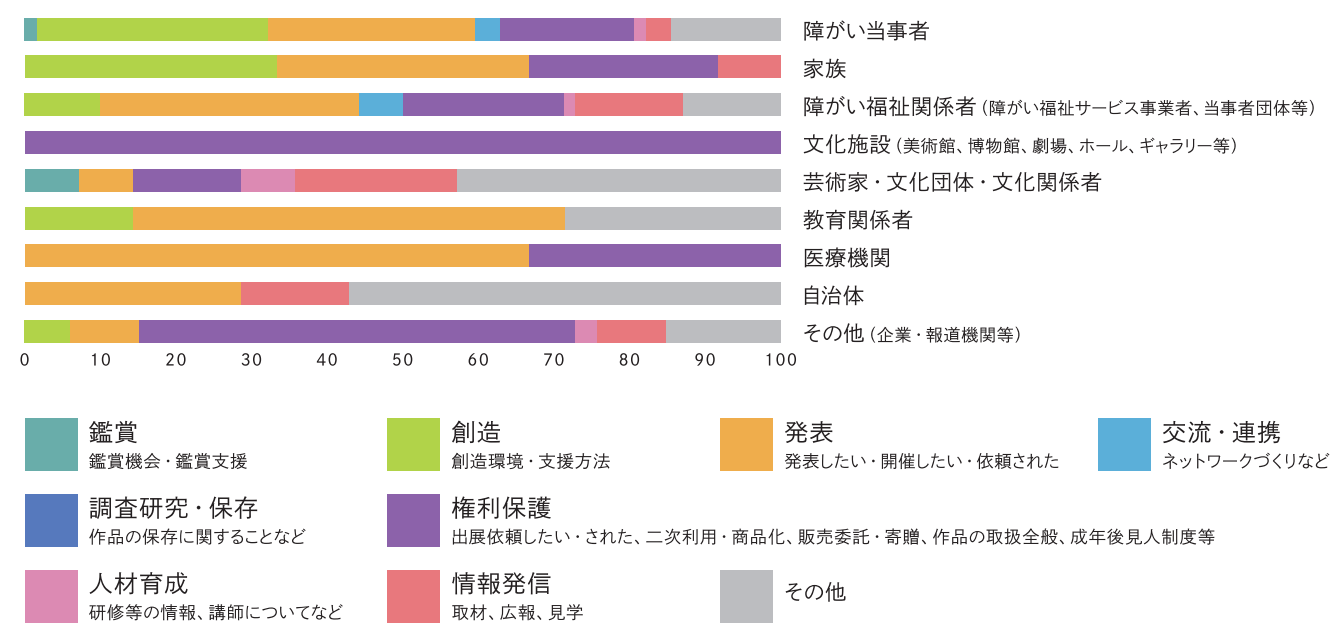
相談窓口

相談方法／電話、来訪、訪問、メール、FAX、ZOOMなど
受付時間／9:00～17:00（土・日曜、祝日等を除く）

相談件数の内訳



クロス集計 相談者属性×相談種別



相談支援事例



大分銀行ロビーでの展示会の様子

CASE 01

相談者 障がい施設職員
相談種別 発表

相談内容

利用者さんの絵を色々な人に見て頂きたい。できれば施設に近い場所で多くの人に見て貰えるような展示ができる場所はないだろうか。

大分銀行地域創造部の担当者に相談。施設から近い支店の店長さんにお話いただき、大分銀行ロビーでの展示会を開催した。

CASE 02

相談者 障がい当事者
相談種別 情報発信

相談内容

障がいのあるアーティストが登録できるウェブサイトに応募したいが、弱視の自分はパソコンを使うことができない。また、いつも行動支援を依頼しているヘルパーにも頼むことができず、誰に相談してよいかわからない。支援センターに手伝ってもらえないだろうか。

センターに来所いただき、登録に必要な情報を本人からヒアリングし、代理入力した。また、持参した作品をセンターでスキャンし、画像登録の支援も行った。今回は、代理入力という直接的な支援を行ったが、適切な支援者に繋ぐことが課題である。

CASE 03

相談者 障がい当事者の家族
相談種別 創作

相談内容

障がいのある子どもが創作がとても好きなので、週末利用できる絵画アトリエや、創作活動に特化した放課後等デイサービス等を探している。

希望エリアを聞いた上で、支援センターで繋がりのあるアトリエや放課後等デイサービスの情報をお伝えした。

2 創造機会

オープンアトリエ in コトブキヤ駅南

障がいのある人もない人も、気軽に芸術文化活動を楽しむ場として月1回コトブキヤ駅南店の中で創作活動の場を用意。画材も色々な種類を準備し、参加者が興味のあるものにチャレンジできる環境を整え、1回2時間の活動を行いました。

【期間】2023年6月～2024年3月
(8月・11月はお休み) 8回開催
【時間】午前 10:30～12:30
午後 14:00～16:00
【会場】コトブキヤ駅南店3階

講師 谷口裕子／創作活動アドバイザー
トマリアサミ／創作活動アドバイザー
芳賀健太／創作活動アドバイザー



わたしのパレット展

オープンアトリエ in コトブキヤ駅南で活動するなかで生まれた作品を中心に1人1点ずつ作品を発表しました。

【期間】2024年3月2日(土)～3月25日(月)
【時間】平日 9:00～17:30
土日 10:00～17:00 (祝日は休館)
【会場】大分銀行宗麟館2階 ソーリンスクエア
【協力】株式会社大分銀行
【展示構成】青トンカチ



アウトリーチ

福祉施設や特別支援学校などに、
絵画・造形・音楽・身体表現
などの講師を派遣し、
アート活動の機会を提供しました。



オリジナルスタンプの巾着作り

団体 星座オリオン
講師 トマリアサミ／アーティスト



グルーガンでランプシェード

団体 明日の輪
講師 廣瀬剛／大分大学教育学部教授



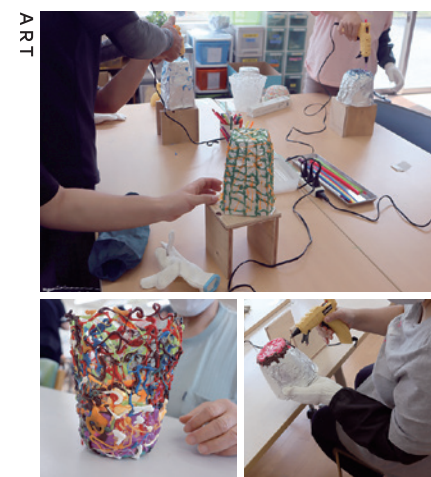
ちぎり絵でのオリジナル動物作品

団体 ひまわりの家
講師 梅本弥生／美術講師
須賀晴菜／美術講師



不思議な形の彫刻作り

団体 コロニー久住
講師 村上佑介／大分大学教育学部准教授



グルーガンでランプシェード

団体 やまびこ広場
講師 廣瀬剛／大分大学教育学部教授



壁画作品制作～オリジナルモンスター～

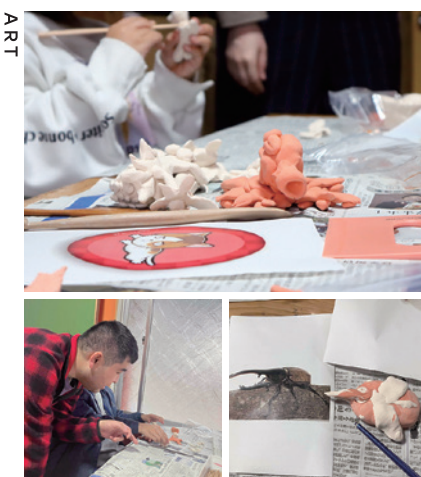
団体 あすなろ
講師 中野伸哉／イラストレーター・陶芸家



粘土ワークショップ

団体 じゃんぴんぐVOY

講師 中野マーク周作／陶器造形作家
中野伸哉／イラストレーター・陶芸家



粘土ワークショップ

団体 アトリエぼてりー

講師 中野マーク周作／陶器造形作家
中野伸哉／イラストレーター・陶芸家



グルーガンでランプシェード

団体 ケットシーガーデン

講師 廣瀬剛／大分大学教育学部教授

DANCE

ダンス・身体表現



ダンス・身体表現

団体 どんぐり1

講師 工藤功太郎／ダンサー
Zaco／ダンサー
トマリアサミ／アーティスト



紙テープアート・身体表現

団体 どんぐり河内

講師 トマリアサミ／アーティスト
Zaco／ダンサー



アート活動&身体表現

団体 大分県立聾学校

講師 西川晴香／ダンス講師
トマリアサミ／アーティスト



紙テープアート・身体表現

団体 みんなの絆 aina

講師 トマリアサミ／アーティスト
Zaco／ダンサー



音楽



好きな楽器を鳴らしてみよう

団体 大分県立佐伯支援学校

講師 木村八重子／音楽療法士



楽器制作&参加型音楽活動

団体 高田みづほ園

講師 村田千尋／ジャズピアニスト
Uta／ボーカル



コンサート・作曲

団体 Canaw

講師 村田千尋／ジャズピアニスト
Uta／ボーカル
河野里菜／チェロ・三味線



リトミック

団体 チャイルドハート大在

講師 佐藤広美／音楽講師
小尾結花／音楽講師



パネルシアター

団体 夢ひこうせん

講師 渡辺繁治
／パネルシアター劇団 DANパネ団



たおる遊び&パネルシアター

団体 エミフル

講師 渡辺繁治
／パネルシアター劇団 DANパネ団



竹楽器で即興演奏

団体 アルノハウスたけのこ

講師 木村秀和／美術家
宮崎宏史／林業家

オープンアトリエ地域開催

障がいのある人もない人も、
色々な人が身近な地域で
芸術文化活動を楽しむ場を作ることを目的に、
各地でワークショップを実施しました。



絵画

.....
いろいろな画材で絵を
描いてみよう



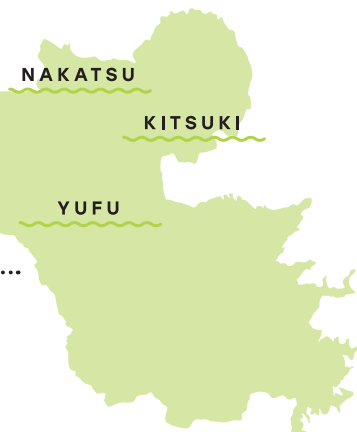
粘土

.....
粘土をこねて好きなものを
作ってみよう



コラージュ

.....
折り紙・ぬの・ビニール・
様々な素材をコラージュして
作品を作ろう



講師



アーティスト
トマリアサミ



陶器造形作家
中野マーク周作

興味があるアート活動を自由に選んで体験できるブースを用意。
それぞれが自分で作るものを選んで活動を行いました。



オープンアトリエ in きつき

ワーク ショップ

【期間】2023年8月3日(木)
2023年10月14日(土)
【会場】杵築市立図書館
多目的室

共催

杵築市



in
KITSUKI

オープンアトリエ in ゆふ

ワーク ショップ

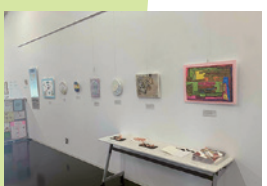
【期間】2023年9月3日(日)
【会場】由布市庄内公民館
大ホール

展示

【期間】2023年9月26日(火)
～10月9日(月祝)
【会場】庄内公民館エントランス
湯布院公民館(ゆふいんラックホール)
由のまちロビー 1階
挾間公民館(はさま未来館)3階ロビー

後援

由布市



in
YUFU

オープンアトリエ in なかつ

ワーク ショップ

【期間】2023年8月18日(金)
【会場】中津市教育福祉センター
多目的ホール

展示

【期間】2023年8月22日(火)
～9月3日(日)
【会場】ゆめタウン中津
2階無料遊び場奥 レストランスペース

後援

中津市

協力

株式会社イズミ ゆめタウン中津

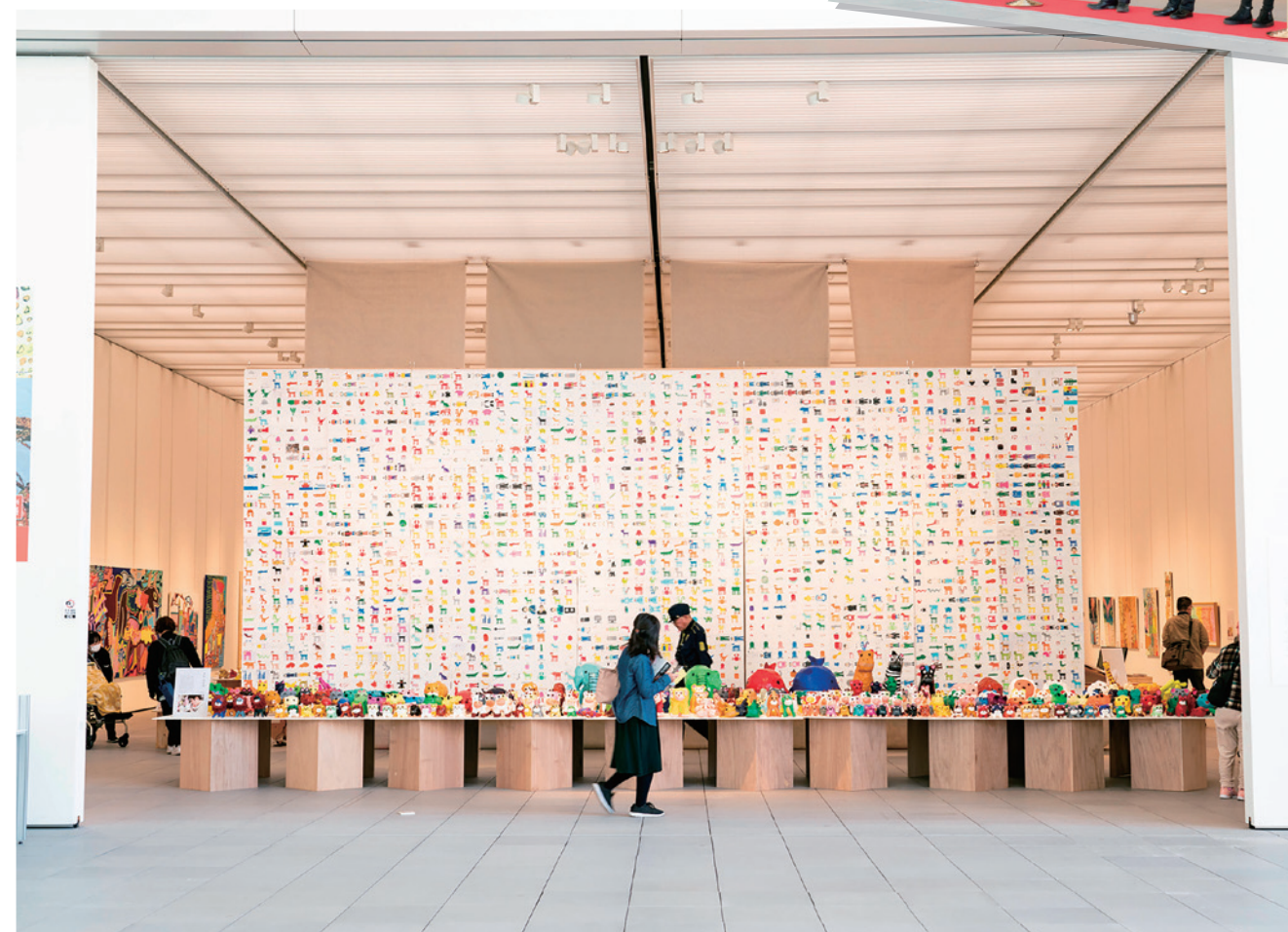


in
NAKATSU

3 発表機会

おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 vol.5

扉をあける



県内外において魅力的な芸術文化活動に取り組む個人や施設をピックアップして紹介する展覧会です。5回目を迎える今回は展示テーマを「扉をあける」とし、大分県内在住の障がいのある人のアート作品と、50年もの長きにわたり、障がい者のアート活動に取り組んでこられた奈良県にある「たんぽぽの家」所属のアーティストの方々の作品を、その取り組みと合わせて紹介しました。会期中はワークショップやトーク、ギャラリーツアーを行い、ミュージアムショップでは関連作家のグッズや作品を販売しました。さらに、会場の大分県立美術館では「第28回ときめき作品展」も同時期に開催されたことで、会期中は障がいのある人の表現活動を観覧する来館者で賑わいました。

展覧会
テーマ

扉をあける

今、自分が立っている場所から次のフェーズへのアクション（行動）の意味を込めています。おおいた障がい者芸術文化支援センターが設置されてから4年が経ちました。支援センターの様々な事業を通じ、アートによって、「可能性の扉」をあけてきた障がいのある人や福祉施設にたくさん出会うことができました。本展では、その様々なスタイルの表現を紹介しました。



【期間】2023年11月8日(水)～18日(土)
【会場】大分県立美術館(OPAM)1階 展示室A 【観覧料】無料
【協力】一般財団法人たんぽぽの家、たんぽぽの家アートセンター HANA、Able Art Company、Good job!Center KASHIBA

扉をあける
from
奈良

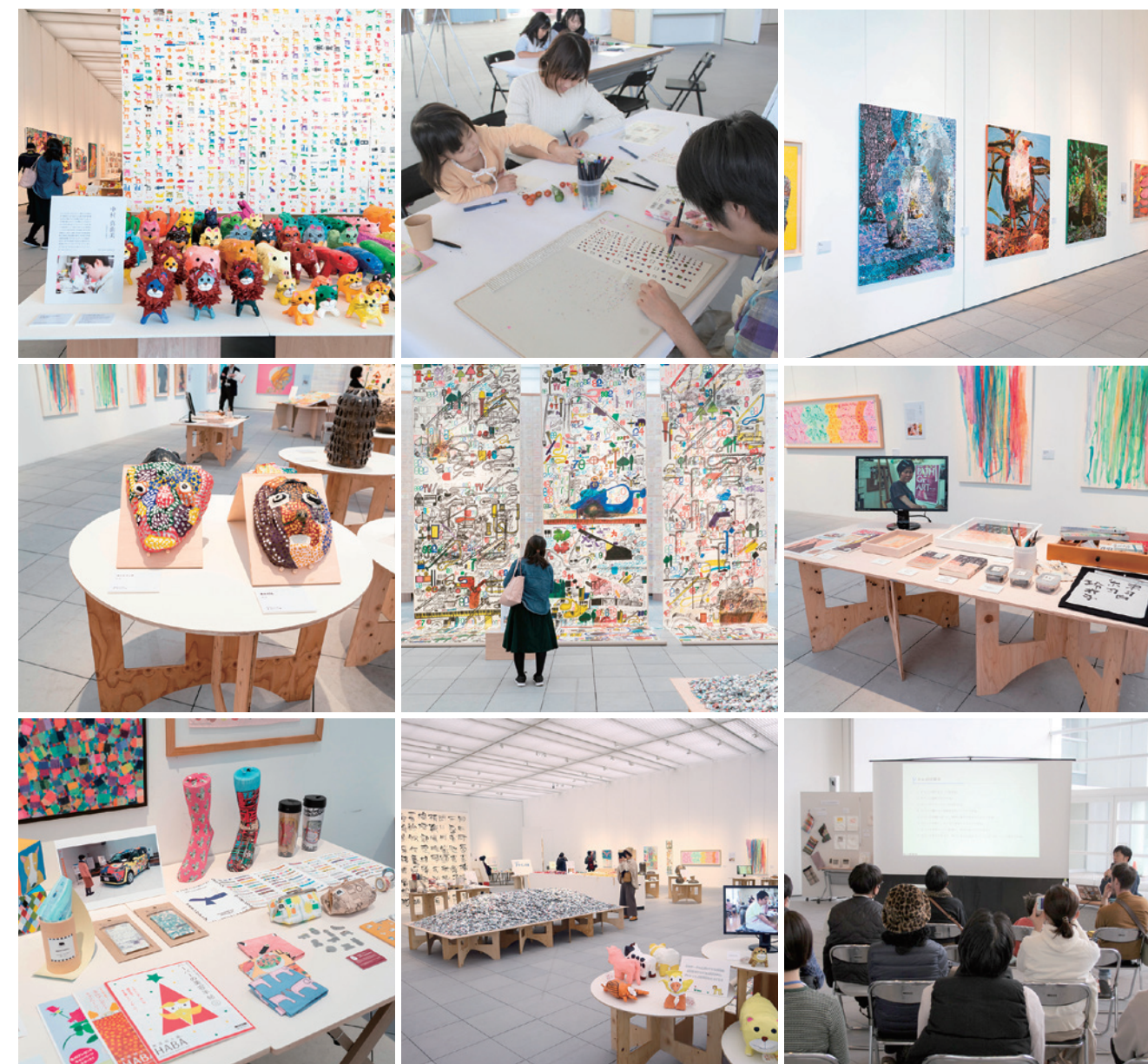
たんぽぽの家

アート活動に取り組む先進的な福祉施設の紹介として、障がいのある人の「自分らしい生き方」のために50年以上の間、幅広く活動が続けてきた奈良の「たんぽぽの家」の作品とその取り組みを紹介しました。

出展

荒井陸、伊藤樹里、小松和子、澤井玲衣子、十亀史子、中村真由美、H・K、福岡佐知子、前田考美、山野将志

YOUTUBEで
公開中!



たんぽぽの家

アートとケアの視点から、さまざまな事業を実施している市民団体です。障がいのある人が表現活動を仕事にする「たんぽぽの家アートセンターHANA」、アート・デザイン・ビジネスの分野をこえ、社会に新たな仕事をつくりだす「Good job!センター香芝」などを運営しています。その他、アートと社会の新しい関係をつくる「エイブル・アート・プロジェクト」や、

障がいのある人との協働から生まれる新たな働き方を提案する「Good job!プロジェクト」を行っています。1973年の発足以降、50年にわたり多岐に及ぶ活動を展開。2022年には文化の向上発展に関して特に功績が顕著な者に与えられる「文化功労者」に理事長の播磨靖夫氏が選出されました。



扉をあける

from
大分

おおいた障がい者芸術文化支援センターの事業で出会った沢山の方々の中から、「可能性の扉」をあけ、独自のスタイルで作品を制作し続ける方や施設をピックアップしました。

出展

岩川日向子、衛藤富雄、小野天哉、小野治代、後藤和美、芝崎礼実、清家末次、武井のぶみ、田上守、とよみ園、西尾枝里、希美(nozomi)、平松政敏、プロフェッサー・ミレニウム、堀内俊輔、真澄アキヒロ、山田聖

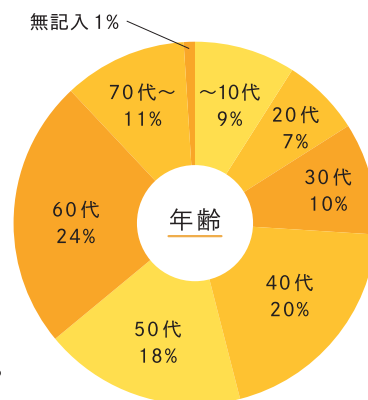
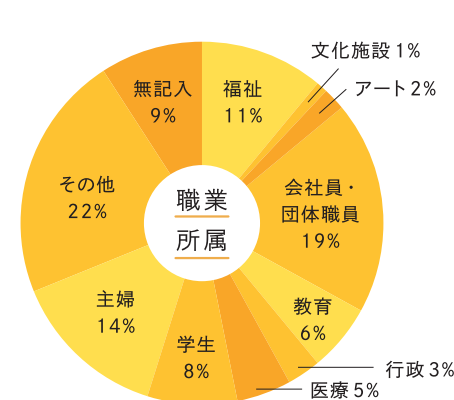
YOUTUBEで
公開中!



扉をあける 実績

【来場者】3,862人
【出展者】たんぽぽの家 10人 / 大分 17人・組
【出品点数】たんぽぽの家 3,283点 / 大分 1,113点

【来場者アンケート集計】
回答数：252件 回答率：6.5%



参加者の感想

- アートとともに生きる楽しさを感じるよい作品展でした。
- 私の大好きな作品がたくさんみつかりました。
- 大分にもたくさんの個性的な作家がまだまいることを知り楽しかったです。
- 作品の発表の場があることは、とても良いと思います。
- 他の作品もたくさん見たいです。
- 多くの人に見て頂きたいので、PRをしていってもらいたい。

過去に開催した当センターの企画展への来場

Vol.1	39人
Vol.2	36人
Vol.3	51人
Vol.4	49人
どれも見ていない	109人
無記入	58人

gallery MAPO

大分県立美術館 (OPAM) 2階に展示スペースを設け、芸術文化活動に取り組む障がいのある人の作品を展示しました。

【会場】大分県立美術館2階 【観覧料】無料



藤澤奈央

2023年5月2日(火)
～7月2日(日)

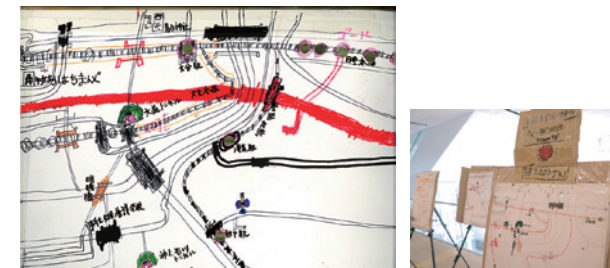
果物や花などをパステルの柔らかいタッチで描いた作品です。鮮やかでみずみずしさを感じさせるコラージュ作品も、観る人の心を引き付けました。テレビ取材では奈央さんご本人に出演していただきました。



甲斐 瞳

2023年9月2日(土)
～10月31日(火)

日々の暮らしの中から絵のアイデアが浮かんでくるそうです。色鮮やかで細かく描き込まれた画面は、観る人を想像の世界に誘います。ポストカードや缶バッジ、刺繍ブローチなどのオリジナルグッズもミュージアムショップで販売しました。



秦亮太郎

2023年12月26日(火)
～2024年2月28日(水)

自閉症の専門施設「めぶき園」で、サインペンを用いて自分の生まれ育った大分市内の地図を描いています。新しい地図は古い地図の上に重ねて貼り付けられ、地層の様に厚く積み重なった作品の存在感は、不思議な魅力を放っています。



夏のポップ展
小野天哉・こっちゃん・空叶論

2023年7月4日(火)
～8月31日(木)

明るくポップなイラストを描く20～30代の若者に、夏をテーマにした作品を出して貰いました。感想ノートには「元気が出た」「カラフルで可愛い」「色が涼しそう」などのコメントが寄せられました。



原野彰子

2023年11月2日(木)
～12月24日(日)

県内の様々な地域で絵手紙教室の講師をしている原野さん。のびのびと大胆に描かれたモチーフと傍に書かれた温かいメッセージに、「優しい気持ちになれた」「私も絵手紙を描いてみようと思った」など多くの感想が寄せられました。



伊藤篤司

2024年3月1日(金)
～4月30日(火)

イラストや似顔絵など色々な絵を描く多才な伊藤さん。今回は県立美術館のコレクション展「風景をめぐる アートで小旅行」の会期に合わせて風景画をご紹介します。ペンと水彩で描写された大分や旅行先の風景は、見ること・描くことの楽しさを伝えてくれます。

オリジナル影絵パフォーマンス

よるのとびらをあける

YOUTUBEで
公開中!



障がいの有無に関わらず、共に表現する場を提供。

企画展開催の中で大分県立美術館 (OPAM) のアトリウムを舞台とし、パフォーマンス公演を実施しました。

【会期】2023年11月12日(日) 18:00~18:30 【会場】大分県立美術館 (OPAM) 1階アトリウム



R5年度は奈良県で障がいのある人のアート活動に取り組む福祉施設「たんぼの家」より講師をお招きし、公募で集まった参加者たちとパフォーマンスを行いました。今回のテーマは「影」。たんぼの家で取り組んできたダンスプログラム「かげのダンス」や、インドネシアの伝統的な影絵芝居「ワヤン・クリツ」をヒントにしつつ、インドネシアの民族楽器・ガムランも使いながらオリジナルの影絵芝居を創作し公演しました。

講師

佐藤拓道 / たんぼの家アートセンター HANA 副施設長、俳優

大井卓也 / 一般財団法人たんぼの家スタッフ、音楽家

玄番佐恵子 / 一般財団法人たんぼの家プロジェクトスタッフ、イラストレーター

高橋宏太朗 / 大分県立芸術文化短期大学 打楽器専攻

出演者向け
ワークショップも
開催しました!



影絵体験&お話を考えよう
11月9日(木)



影絵人形を作ろう
11月10日(金)



パフォーマンス&音楽を作ろう
11月11日(土)

4 鑑賞機会

彫刻に触って鑑賞するワークショップ

大分県立美術館 企画展 朝倉文夫生誕140周年記念

猫と巡る140年、そして現在 彫刻をさわる時間



【会期】2023年7月2日(日) 13:00~16:30

【鑑賞作品】大分県立美術館 (OPAM) 企画展彫刻作品 (朝倉文夫記念館所蔵作品) / 遊歩公園彫刻作品

【対象】小学生以上



障がいのある人もない人も一緒に楽しむ「彫刻をさわる時間」を、大分大学の協力のもと、大分県立美術館で開催された朝倉文夫生誕140周年記念企画展で実施し、手袋を使用して展示作品をさわる時間を設けました。見るだけでなく「さわる」ことで、視覚に障がいのある方が楽しめるだけでなく、みるだけでは分からない「うつくしさ」や「あたたかみ」を感じる時間となりました。

講師

広瀬浩二郎 / 国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授

篠原聡 / 東海大学 ティーチングクオリフィケーションセンター 准教授

田中佐和子 / 大分県立盲学校 教諭

高橋泰佳 / 国東市立国東中学校 教諭

村上佑介 / 大分大学教育学部 准教授

田中修二 / 大分大学教育学部 教授



大分県立美術館 (OPAM) でのさわる時間のあとは遊歩公園に移動し、屋外彫刻を実際にさわるワークショップを実施しました!



5 人材育成

冬の創作ワークショップ

障がいのある人の芸術表現を活かした活動を企画・運営する人材のスキルアップを図ることを目的に、芸術文化や福祉、教育等の分野に携わる人を主な対象に開催するセミナーです。

作品発表やアートワークショップなどで活躍する県内在住のアーティストを講師に、参加者が創作活動を体験するワークショップを開催しました。実際に手を動かして描いたり作ったりすることで、表現することの面白さを楽しんだり、工夫することの難しさを体感したりしていただきました。福祉施設や学校での実践に活かせるような事例を聞く時間や質疑応答も設けました。



ワークショップ

第1回

わくわく・こねこね・ネンド造形

【会期】2024年2月4日(日) 13:00 ~ 15:00
【会場】大分県立美術館(OPAM) 2階 研修室

講師

中野マーク周作/陶器造形作家
中野伸哉/イラストレーター・陶芸家

参加者の感想

- 実践するセミナーは初めての参加だったので、とても楽しかった。今後も体験するセミナーがあると嬉しいです。
- 環境や場面の設定、働きかけなど、改めて考えることができました。
- 教育する立場のため、つい“教える”に重きをおいてしまい、その子らしさを見失っていました。また学習の中でその子らしさに寄り添って教えていきたいと思います。
- 無理に手を出さず、見守ることの大切さを感じました。



ワークショップ

第2回

送る相手を想いながら絵手紙を描こう

【会期】2024年2月25日(日) 13:00 ~ 15:00
【会場】大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

講師

原野彰子/絵手紙講師

参加者の感想

- 普段は自己流でエンピツで下書きを描いてから行っていましたが、今日は直筆で描いたのでドキドキしましたが、とても楽しかったです!
- お一人お一人に良い点を言葉で伝えて下さっていた事がとても印象に残りました。
- 絵手紙の素晴らしさと、絵のうまさは関係ないという言葉が印象に残りました。



6 交流事業

アートを感じるワークショップ

大分県内で活動している障がいのある作家が、県内の小学校を訪問してワークショップを行いました。障がいのある作家が講師となることで、子どもたちや学校関係者が多様性について考える機会としています。

作品鑑賞&自由に布にペイントしよう

事前に HARIKO さんの作品を学校内に展示。当日は展示していた作品に加え大きな作品も持ち込み、近くで作品鑑賞をする時間を取りました。その後、布を1人1枚ずつ配布し、布用の絵の具で自由にペイント。身体全身を使って様々な表現が生まれました。

対象 津久見市立青江小学校1年生

講師 HARIKO / ファブリックアーティスト



絵手紙を描いてみよう

活動の前に、原野さんのこれまでの人生の歩みや、絵手紙と出会ったエピソードなどをお話いただき、「障がいと共に生きること」を子どもたちが考えるきっかけとしています。絵手紙では旬の野菜や季節の花などからモチーフを選び手紙を送る相手を想像しながらそれぞれが絵手紙を描きました。「へたでいい、へたがいい」という原野さんの声かけを受けながら、沢山のあたたかい作品が生まれました。

対象 大分市立八幡小学校4年生

講師 原野彰子 / 絵手紙講師



7 情報収集・情報発信

調査・発掘

障がいのある人の創作活動の実態把握や新たな表現を発掘するために、芸術分野の専門家に同行を依頼し、施設や個人宅を訪問して情報収集を行いました。今年度は5件の調査を行いました。過去に訪問した方の中には、その後、支援センターの gallery MAPO や企画展等に作品を出品いただいた方もいます。支援センターでは今後も情報収集を続け、様々な場へ繋げていきたいと考えています。もしみなさんの周りに気になる表現活動をしている方がいたら、ぜひ支援センターまでお知らせいただけたら嬉しいです。

令和5年度 調査実績

調査先 / 市町村 / 分野

- ▶ 個人宅 / 大分市 / 絵画
- ▶ 個人宅 / 中津市 / 絵画や書
- ▶ 個人宅 / 中津市 / 絵画
- ▶ 個人宅 / 竹田市 / 絵画や書
- ▶ グループホーム / 大分市 / 絵手紙

調査員

廣瀬剛 / 大分大学教育学部教授
中野伸哉 / イラストレーター・陶芸家
原野彰子 / 絵手紙講師



調査員の感想

- Aさんの表現は、ベースに色を塗り色面で表現する、線画で具体的な絵を描く、線画で抽象的な絵を描く、数字・文字を書く、それらを組み合わせるなど表現方法は多才で、画材によっても変化します。紙面に描いた絵のレイアウトもユニークでデザイナーから好まれる作品だと思いました。
- Bさんは作品の量と大きさが魅力です。作者の思いがこもっている作品ばかりですし、制作意欲も旺盛です。このまま続けてもらえれば、とても期待ができます。気になったのは作品保管のことでしょうか。作品を絵の具が乾く前に重ねてしまい、表面が破損してしまうケースが度々ありました。これを防ぐために、作品の間にバラフィン紙などを挟むとよいと思います。

情報発信

おおいた障がい者芸術文化支援センターのホームページ・Facebook等のSNSを活用し、センター事業や障がいのあるアーティストによる県内外のイベント情報の発信をしています。



情報発信件数 (2月末現在)

メディア掲載
(センター事業関係)

新聞 ————— 18
テレビ(ケーブルTV含む) — 4
雑誌等 ————— 5

公募展情報発信
(センター事業関係)

HP/facebook ——— 18

SNS等発信
(センター事業関係)

ホームページ ——— 13
Facebook ————— 22
Instagram ————— 12
Youtube ————— 1

SNS等発信
(イベント広報等)

ホームページ ——— 45
Facebook ————— 56



【表紙写真クレジット】



- 1: オープンアトリエ in コトブキヤ駅南
- 2: 扉をあける (衛藤富雄)
- 3: アウトリーチ (じゃんびんぐVOY)
- 4: アウトリーチ (大分県立佐伯支援学校)

おおいた障がい者芸術文化支援センター

〒870-0029
大分県大分市高砂町2番33号
iichiko総合文化センター4階
(公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団)

Tel: 097-533-4505 (平日9:00~17:00)
Fax: 097-533-4013
E-mail: artbrut-oita@emo.or.jp

◎JR大分駅から徒歩で約10分
◎大分ICから車で約7分
◎駐車場あり(有料)

▼ ホームページ

<http://artbrut-oita.com>



▼ Facebook

おおいた障がい者
芸術文化支援センター



▼ Instagram

artbrut.oita



▼ Youtube

おおいた障がい者
芸術文化支援センター



【企画・発行】 おおいた障がい者芸術文化支援センター / 令和6年3月発行

おおいた障がい者芸術文化支援センターは大分県から委託を受け、公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団が企画・運営しています。